

議案第14号

東広島市天然記念物の指定について

東広島市文化財保護条例（平成19年東広島市条例第9号）第4条第1項第5号の規定により、東広島市天然記念物に指定することについて、次のとおり提案する。

令和4年4月28日提出

東広島市教育委員会
教育長 市場 一也

1 提案理由

東広島市文化財保護審議会から、指定が妥当との答申を受けた物件について、東広島市天然記念物に指定するため、この議案を提出するものである。

2 指定する文化財

種 類	東広島市天然記念物
名 称	中黒瀬のセンダン
員 数	2本
内 容	①西側の木 胸高幹囲4.53m、樹高19.5m ②東側の木 胸高幹囲4.7m、樹高15.3m
樹 齢	約110年
所在の場所	東広島市黒瀬町丸山字日ノ詰1450番1 (上記のうち、指定面積は412.66㎡)
所有者等の住所	東広島市西条栄町8番29号
所有者等	東広島市

3 指定する期日

令和4年4月 日

4 根拠規定

東広島市文化財保護条例

第4条 教育委員会は、次に掲げる区分に応じ、それぞれ要件を満たす文化財を東広島市文化財に指定（一略）又は選定（一略）（一略）することができる

る。

(1)～(4) ー略ー

(5) 東広島市史跡、東広島市名勝又は東広島市天然記念物（以下「市史跡名勝天然記念物」という。） 市内に存する記念物（法第109条第1項の規定により指定された史跡名勝天然記念物又は県条例第36条第1項の規定により指定された県史跡名勝天然記念物を除く。）のうち市にとって重要なもの

東広島市教育委員会教育長事務委任規則（平成20年東広島市教育委員会規則第2号）

第1条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（一略一）第25条第1項の規定に基づき、東広島市教育委員会（一略一）の権限に属する事務のうち、法第25条第2項各号に規定するもののほか、次の各号に掲げるものを除き、教育長に委任する。

(1)～(9) ー略ー

(10) 文化財の指定又は選定及びその解除を行うこと。

(11)～(12) ー略ー

東広島市指定調書

- 【 名 称 】 中黒瀬のセンダン
- 【 種 別 】 天然記念物
- 【 員 数 】 2本
- 【 所 在 地 】 東広島市黒瀬町丸山字日ノ詰 1 4 5 0 番 1 黒瀬中央公園内
- 【 所 有 者 】 東広島市
- 【 指 定 年 月 日 】
- 【 内 容 】 位置 北緯 34° 19' 30.64" 東経 132° 40' 26.51" 海拔 160.7m
樹齡 110年前後
樹種 センダン 分類学的位置：種子植物門、被子植物、新生双子葉類、バラ類、ムクロジ目
科名：センダン科センダン属
学名：*Melia azedarach* L.
- 幹周 西側のセンダン：4m53cm・根元周囲：約8m20cm
東側のセンダン：4m70cm・根元周囲：約15m
- 樹高 西側のセンダン：19m50cm≒20m
東側のセンダン：15m30cm
- 樹勢 西側のセンダン：良好
東側のセンダン：良好
- 枝張 西側のセンダン：北（駐車場側）：8m80cm 南（説明板側）：10m20cm
西：9m 東：5m60cm ・高さ 3m で 2本の枝に分かれる。うち南はすぐ 2本に分かれる。高さ 7m で北東に大きな枝が出る。果実あり、落葉中（2021年11月11日） 東 樹木間の距離 9.2m
東側のセンダン：北（駐車場側）：9m50cm 南（説明板側）：7m60cm
西：3m30cm 東：9m ・根元にエノキが生えている。地上約 2m で北西側に大きく枝が分かれる。地上 4m で北に大きな枝が分かれる。地上約 2m の北東部に大小さまざまな 11本の枝がある。果実あり、葉が少し落ち気味（2021年11月11日）
- 【 解 説 】 センダンは、日本では照葉樹林に生える落葉高木で、高さは 20m 程度になる。成長が早い。枝は太い方で、四方に広がって伸び、傘状あるいは丸い樹形の大木になる。成木の幹は目通り径で約 250 センチメートル (cm) になり、上部でよく分枝する。若い樹皮は暗緑色で楕円形の白っぽい皮目が多くよく目立つが、太い幹は黒褐色で樹皮は縦に裂け、顕著な凹凸ができる。

葉は、2回奇数羽状複葉で互生し、一枚の葉全体の長さは50 cm以上ある。葉柄は10mm程度、葉身は長楕円状披針形、長さ6~12cm、幅1.6~3cm、葉身は先が尖った卵状楕円形で革質、薄い。葉縁に浅い鋸歯があり、さらに大きく切れ込むことがある。

花期は7~8月、前年枝の葉腋から総状花序をだす。果実は長卵状楕円形、長さ1.5~2cm。熟すると黒紫色になる。

分布は、本州（伊豆半島以西）、伊豆諸島、四国、九州、沖縄に分布し、ヒマラヤ山麓のほか、中国・台湾・朝鮮半島南部および日本などの乾燥した熱帯から温帯に分布する。

【 所 見 】 中黒瀬のセンダンは、明治45（1912）年に旧中黒瀬小学校と民有地の境界に植栽された。現在は、周囲は公園として整備され、本種はこの公園の一角にある。幅約5m、長さ約30mの緑地内に生育しており、根がよく発達している。日当たりは良好である。

瀬戸内海は雨が少なく、古くから文化が栄え、内海の交易が盛んであった。そのため平野部の樹林は古くから船材や建築材として、また薪炭材としてその多くが伐採された。その結果、瀬戸内海のアカマツを主体とした貧弱な植物群落になってしまった。東広島市でも酒業が発達し、薪炭林が多くあった。そのため森林群落は貧弱であった。その中であって中黒瀬のセンダンの巨樹は植栽されたものであるが、この地域に適した種として、歴史的にみて極めて貴重な存在といえる。

2本のうち境内奥の個体は根元付近の樹皮がはがれ、空洞も見られるが、2本とも生育状態はほぼ良好といえる。

東広島市天然記念物に指定すべき物件と考えられる。

（作成者：吉野由紀夫）

《参考文献》

- 環境庁（編） 1991. 第4回自然環境保全基礎調査 日本の巨樹・巨木林—中国・四国版—. 61 pp. +85 pp. +38 pp. +82 pp. +64 pp. +91 pp. +46 pp. +55 pp. +57 pp. +28 pp. 大蔵省印刷局、東京.
- 環境庁自然保護局（編） 1993. 緑の国勢調査—自然環境保全基礎調査の概要—. 69 pp. (財)日本野生生物研究センター、東京.
- 北村四郎・村田 源 1971. (改訂版)原色日本植物図鑑 木本編 I. 453 pp. 保育社、大阪.
- 黒瀬町史編さん委員会（編） 2003. 黒瀬町史環境・生活編. 772 pp. 黒瀬町、広島県.
- 滝口 進 2005. ひろしま県内の「巨樹・老樹・名木」調査—市町村別調査地別・樹種別詳細—. 69 pp. 自費出版。（記載あり）
- 林 弥栄 1969. 有用樹木図説、林木編. 472 pp. 誠文堂新光社、東京.
- 藤原 圭 1977. 黒瀬町教育史. 中黒瀬小学校. 59pp. 在時農村文化研究所、黒瀬町.

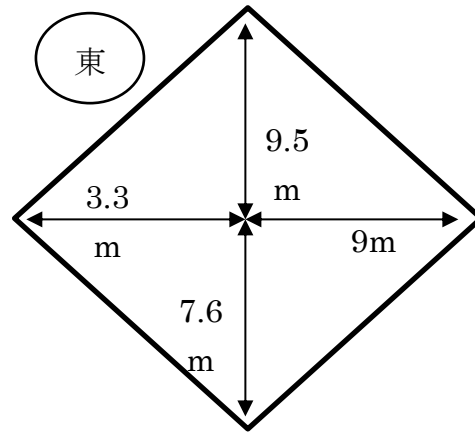
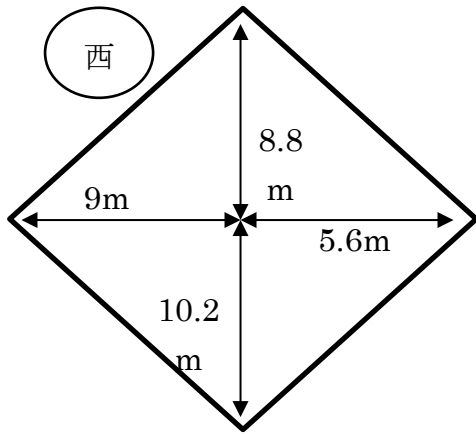
○計測結果

西 東



○枝張

駐車場 北



説明板 南



センダンの木



幹回りの計測



根回りの計測



令和4年3月15日

東広島市教育委員会 様

東広島市文化財保護審議会
会長 今田幸博



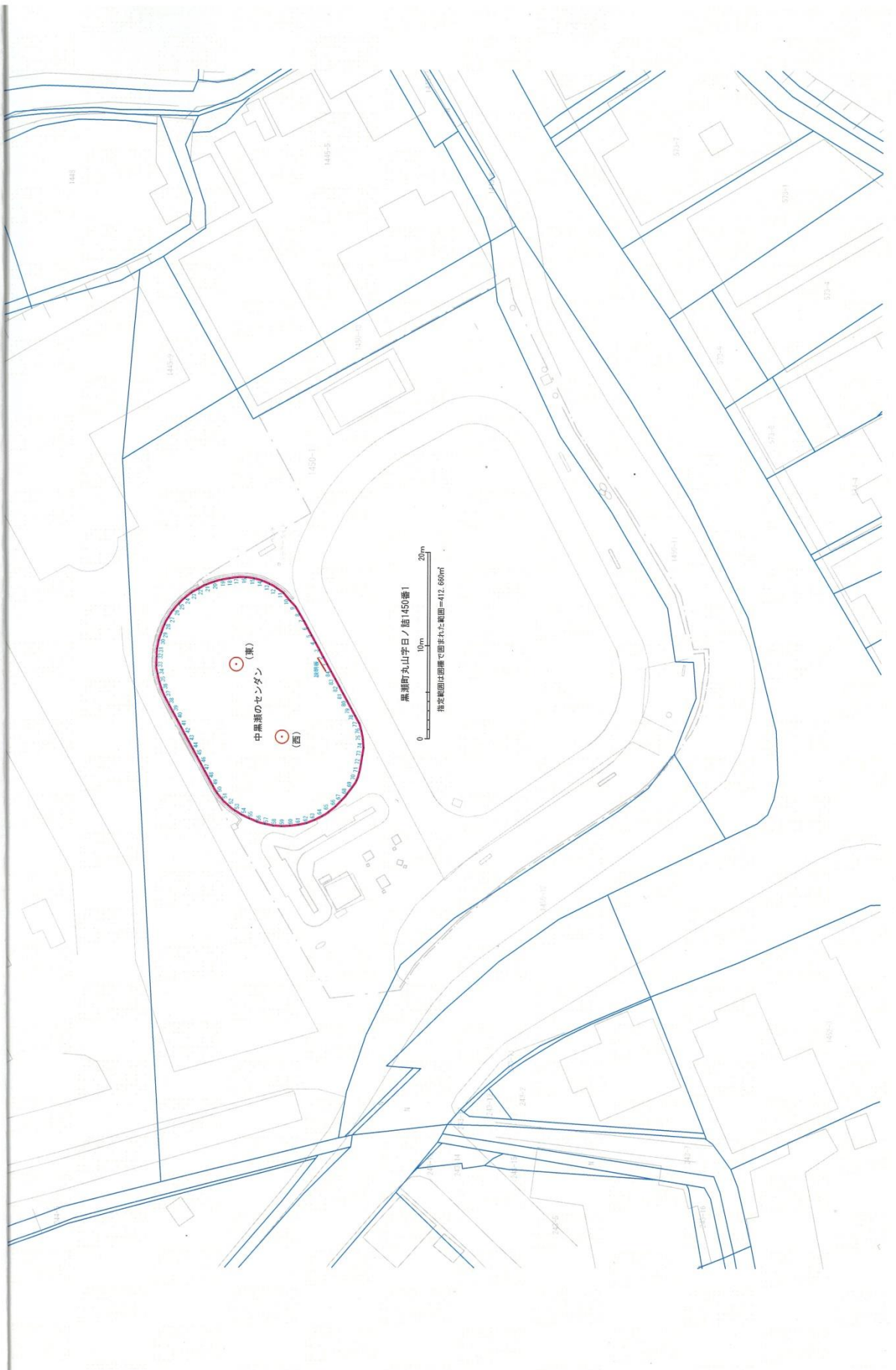
東広島市文化財の新指定について（答申）

令和4年3月9日付け、東広教文第397号で諮問のこのことについては、指定することが妥当と認めます。

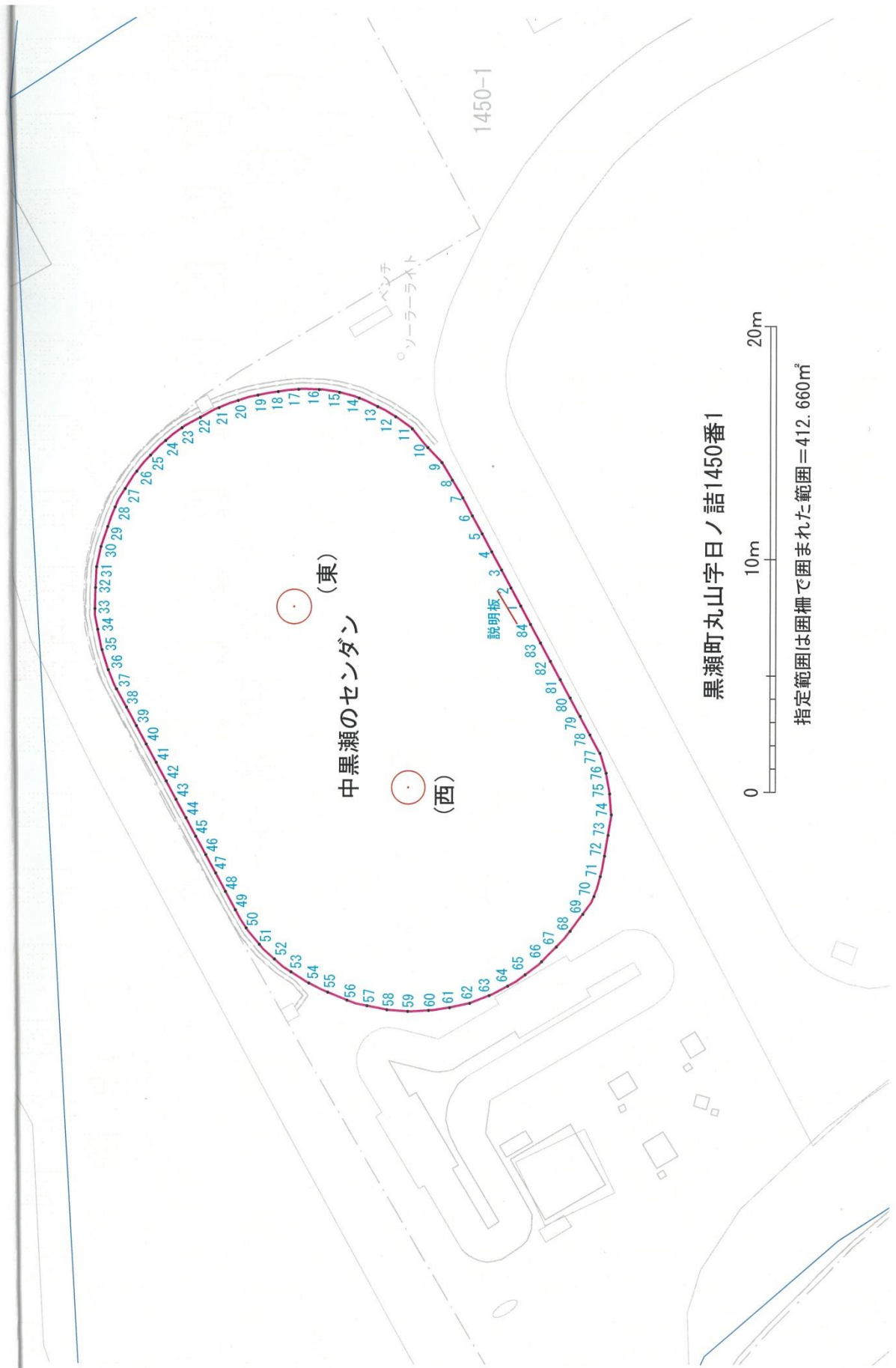
◎諮問物件

・令和3年度 東広島市文化財新指定諮問物件

種別	名称	種類	員数	内容	指定地（指定面積）	所有者
市天然記念物	中黒瀬のセンダン	天然記念物	2	西側の木 胸高幹囲 4.53m 樹 高 19.5m 東側の木 胸高幹囲 4.7m 樹 高 15.3m	東広島市黒瀬町丸山 字日ノ詰 1450 番 1 （上記のうち、指定面積は 412.66 m ² ）	東広島市



中黒瀬のセンダン位置図



中黒瀬のセンダン指定範囲を示す図